

公表 令和2年2月26日

事業所名：社会福祉法人いずみ ひまわり放課後等デイサービス

回収数15 配布数17 回収率88.2%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	4		利用人数が多い日には活動グループを分け、空いている部屋等も利用しながら活動を行っていく予定。
	②	職員の配置数は適切であるか	9	6		現状、設置基準を大幅に上回るより手厚い人員配置をもって、医ケア児、重心児を含めた支援を実施している。今後も利用児にあわせた職員配置体制で臨みます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	14		1	建物入口が重量のある引き戸のため、車いすの利用者が一人では建物に入れない。今後、施設改修等のタイミングで改修できると良い。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	9	1	10月から非常勤職員に対し情報伝達・支援計画確認の時間を増やしている。今年度から全体職員会議の回数を増やしている。非常勤職員についても、可能な範囲で利用者の支援の振り返りに入ってもらおう。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	5		今年度末から保護者向けアンケートを配布し、意向等を把握して活動につなげていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	15			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	7	5	3	現在はまだ第三者評価を行っていないが、必要に応じて実施する。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12	3		新規職員研修、内部研修会 年2回を行っている今年度から法人の海外研修、OJT研修を新たに実施している。
適切な 支援の	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	7		他事業所で使用しているもの等を参考にし、良いものがあれば利用していく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	5	1	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	6		担当者数名でプログラム立案を行っている。担当者以外も必要時に関わり、プログラムが固定化しないよう努めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	4		
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10	4	1	活動の内容、個々の課題等は日々支援前のミーティングで確認を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	3		今後もより一層、支援のメニューの充実に努めます。

の提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	15			10月から支援前のミーティングの時間を伸ばし、さらに確認しやすくしている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	14		1	職員の退勤時間にバラつきがあるが、退勤前に活動の振り返りの聞き取りをしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	3		
	⑱	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	11	3	1	職員の意見を聞き取る場が少なかったため2月から職員会議内でのケース会議の時間を増やしていく。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	8	7		ガイドラインを知らない職員が多いので、回覧及び周知説明を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	4	1	法人内の相談支援事業所トピラと担当者会議を行っている。その他の相談支援事業所も必要時に実施している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9	6		小平特別支援学校は昇降口で申し送り・情報共有の時間を長めにとれている。村山特別支援学校は必要時に申し送りをうけている。保護者からもLINE等で情報をもらうようにしている。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	12	3		経験豊富な職員により、関係機関との連携等は引き続き実施いたします。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	11		必要に応じて行っていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	7	1	法人内の生活介護事業所への移行時に情報提供を行っている。その他の事業所へも保護者に確認の上、必要に応じて行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	10	1	必要に応じて行っていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		7	8	現在、交流を検討している。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7	6	2	参加したことがある。今後も必要に応じて参加していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	4	1	11月から連絡帳を整備し使用しはじめている。今年度より親子交流会を実施、保護者とのコミュニケーションの機会を作っている。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	9	1	必要な方に対し助言や情報提供を行っていく。（支援の他、看護・PTなどの専門職からも実施）	

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12	3		契約書等の内容整備を行い、説明したことがお互いに後から確認できるようにする。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	11	3	1	必要時に実施している。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10	4	1	保護者会 年3回、親子交流会 年2,3回を行っている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	4		苦情等があった場合、法人本部にも情報を伝え、法人として対応を行えるようにしている。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12	3		
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	14	1		
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	15			
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	7		法人として、地域の方も招いてコンサートや講演会、合同祭りを行っている。 南台公園の花壇管理の一部を担っている。
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	12	3		今後さらに整備し、保護者会等を通じて周知していく。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	11	3		
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14	1		今年度、虐待について講師を招き内部学習会を行った。令和2年度は法人において力を入れて行う予定。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	13	2		
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	13	2		今後、医師の指示書にアレルギーの項目を作成し、指示書に基づく対応ができるようにしていく。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14	1		今後、ヒヤリハットの内容をまとめていく。